

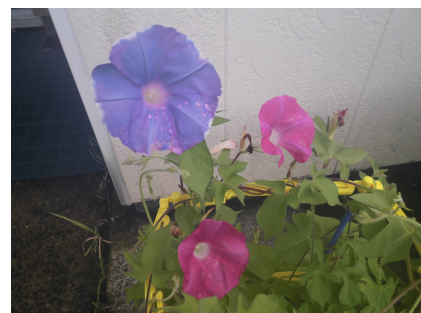


目標・希望・友達

令和7年9月3日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

秋になれば暑さが和らぎ、朝夕は涼しく過ごしやすくなる…と期待していますが、気象庁の3か月予報では、全国的に暖かい空気に覆われやすく、気温は高めになるとのことです。秋はいつやってくるのでしょうか。

2学期も学校では、毎日熱中症指数が31℃を上回っていないか確認しています。体育の学習ができるか、昼休みに子供たちが運動場で遊ぶことができるかを判断するためです。水分補給用のお茶または水、汗拭き用タオル、そして着替えなどの準備をお願いします。また、早速水泳指導が始まっていますので、こちらの準備もよろしくお願いします。



2学期始業式 校長の話

長い夏休みを皆さんはどう過ごしていましたか。お出かけをした人、友達とたくさん遊んだ人、または、ほとんどお家で過ごしたという人もいるかもしれません。そんな中でも「夏休みはこんなことを頑張った!」「こんなことができるようになった!」と言えることがあれば、素晴らしいと思います。今年の夏は毎日のように「熱中症警戒アラート」が出ていたので、外で遊ぶことがあまりできなかったかもしれません。また、「線状降水帯」が発生して大雨が降り、大きな被害が起きてしまったところもありました。9月もまだまだ暑さが続くようですし、台風の時期でもあります。ちなみに9月1日は「防災の日」です。災害が起こりそうなときにどのようにして命を守るのか、家族で話し合っておくといいですね。

さて、1学期の終業式で女の都小学校が目指している3つの児童像について話をしました。「めのと」の文字を取って、「めあてを立ててすすんで学ぶ子」、「のぞみをもってたくましく生きる子」、「友だちとみがきあう思いやりのある子」でした。2学期も引き続きこの3つの児童像を目標にして頑張ってもらいたいと思います。2学期は、6年生の修学旅行や小学校体育大会、5年生の野外宿泊学習、4年生が出演する小学校音楽会、3年生のかまぼこ工場見学、1年生と2年生も生活科で町探検や秋のテーマパークなどいろいろなことが予定されています。そして今年度は、女の都小学校ができてから50年ということで、ブルーフェスティバルでは、各学年の発表に加えて、特別な出し物が予定されています。楽しみにしてください。

ところで、2学期は「中だるみの季節」といわれることがあります。新しい学年になって緊張感のある1学期と進級や進学をひかえた3学期に挟まれた2学期は、今の学年に慣れて、目標をもたずに気が緩んでしまうことがあるということです。暑さが続くこともあり、しなければいけないことをしないで、ただただ過ごしてしまう人が出てくるかもしれません。そこで、皆さんには「凡事徹底」という言葉をキーワードに頑張ってもらいたいと思います。凡事徹底とは、普通にできることを当たり前のように行うことです。「凡事」がありきたりで当たり前のことを指し、普通に行えばできることのことで、「徹底」とは、抜かりなくやるべきことをしっかり行うことという意味です。つまり、凡事徹底とは、簡単だからとやるべきことをやらないというありがちなことを、確実に行うことです。学校生活でいうと、靴箱の靴やトイレのスリッパを正しく並べること。廊下は静かに右側を歩くこと。先生や友達にしっかりあいさつをすること等があるでしょう。また、授業が始まる前に座っておくことや机の上に教科書やノートを出しておくこと。授業中に勝手なおしゃべりをせず学習に取り組むことなども当たり前のことです。自分の弱い心に負けることがないように、「凡事徹底」を続けていきましょう。